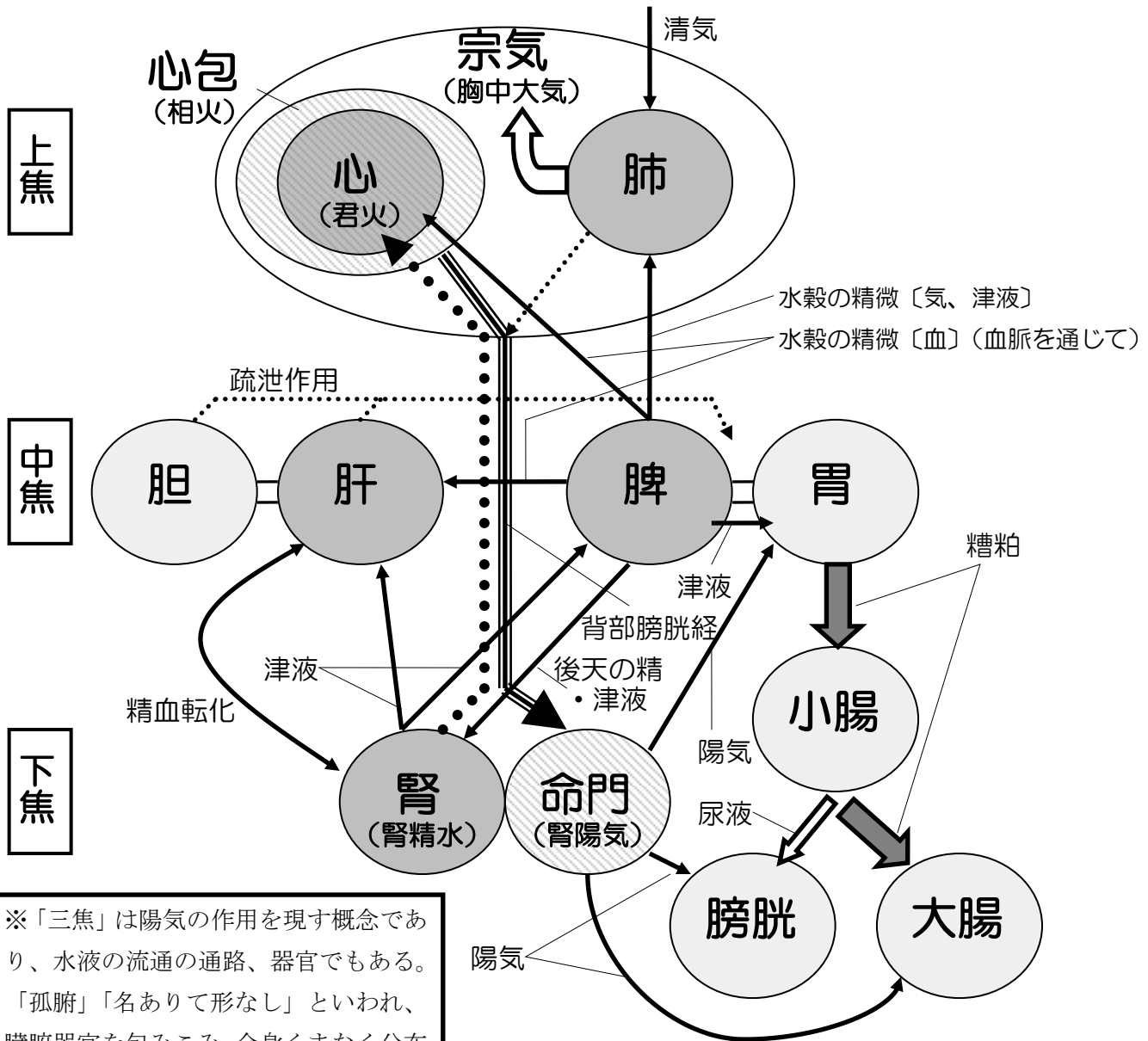


## ■ 五臓六腑相關図 ■



※「三焦」は陽氣の作用を現す概念であり、水液の流通の通路、器官でもある。「孤腑」「名ありて形なし」といわれ、臟腑器官を包みこみ、全身くまなく分布している。

心包 (相火) が命門の火 (三焦の原氣) となり、三焦の陽氣の根源となるため、心包と三焦は表裏の関係となっている。

※胃、小腸、大腸は飲食物を清濁に分け、清は脾に送り、濁は下輸する。そのため胃腸をひとくりに捉える場合もある。また、「胃は六腑の大源」ともいわれ、胃の熱や冷えが各腑に影響することもある。